

新年度役員紹介

役員挨拶



青森県PTA連合会会長
棟方 丈博

合うことで、「従来の形のまま継続していけるのであれば「不要」と感じられることがあったとしても、子どもたちの学びと安心を支える仕組みとしてのPTAの役割は、非常に重要である」という共通認識にたどり着くことができました。

私たちが望み守りたいのは、子どもたち一人ひとりの笑顔です。そして、その笑顔の源は、私たち大人の笑顔にあります。保護者と教師が、無理を重ねて疲れ切った顔で支えるのではなく、互いを尊重し合いながら、できる範囲で力を出し合う。その姿を見せることこそが、子どもたちへの何よりのメッセージになるはず。だからこそ、これからのPTAは、「できる人が、できるときに、できることを、できる範囲で」取り組む姿へと変わっていかねばなりません。家庭、学校、地域がゆるやかにつながり、それぞれの事情や働き方、多様な生き方を認め合いながら、無理なく参加できるPTAをつくっていくことが、私たち青森県PTA連合会の目指す姿です。

子どもたちの健やかな成長と笑顔のために、そして大人も笑顔でいられる地域のために、皆さまと共に、新しいPTAの形を少しずつ築いていきたいと思いますので、青森県PTA連合会の活動へのご理解とご協力を、心よりお願い申し上げます。

NEW PTA OFFICERS



新副会長
下北郡連合PTA
伊藤 満治

連合会副会長で、不慣れな点多くございますが、会長を支えながら一緒に参加しやすいPTA活動を心掛けて、微力ながら取り組んでまいります。

子どもたちのより良い学校生活のために、今後とも、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

今回、下北ブロックからの選出で、青森県PTA連合会の副会長を務めます、下北郡連合PTA会長及び大間町連合PTA会長、大間中学校PTA会長の伊藤満治です。

PTAは保護者と教職員が力を合わせ、子どもたちが安心して学び、成長できる環境を整える組織です。子どもたちの健全な成長のため、先生方や会員の皆様には、日頃よりPTA活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

私自身、初めての青森県PTA

◎会長 ○副会長

令和8年度 理事・監事・顧問

ブロック	氏 名		郡 市	
東青ブロック	◎	棟方 丈博	青森市	
	○	木津谷春樹		
		三國 航		
		白鳥 里恵		
		木戸菜穂子	東津軽郡	
西北五つブロック		宮崎 慎士	つがる市	
		松野 実和	北五	五所川原市
		小野耕太郎		北津軽郡
	○	成田 卓也		
		藤田 宗希	西津軽郡	
中弘南黒平ブロック		棟方 悟	弘前市	
		福眞 吉教		
		宮川 善弘		
		山本 昇		
	○	増川 博基	黒石市	
		田中 大明	平川市	
		檜山 重一	中津軽郡	
		山内 範彦	南津軽郡	

ブロック	氏名	郡市
上十二ブロック	栗山 務	十和田市
	小関 教仁	
	○ 米沢 美幸	三沢市
	吉田 綾子	上北郡
	石川 隆一	
	林下 寿志	
むつ下北ブロック	大久保 斉	むつ市 (佐井村)
	工藤 久	
三八ブロック	○ 伊藤 満治	下北郡
	○ 田畑 芳幸	
	久保田 諭	八戸市
	杉澤 惟成	
	下館顕太郎	
	布施 和洋	三戸郡
	佐々木康太	
有識者	小島 明子	東津軽郡
	盛田 一栄	上北郡
役職	氏名	郡市
監事	富谷 英生	黒石市
	台丸谷真輝	つがる市
	櫻田慎太郎	十和田市
顧問	山子 泰典	八戸市
	横岡千和子	東津軽郡

お知らせ

NEWS

8/21(金)・22(土)

第74回日本PTA全国研究大会
奈良大会

9/12(土)・13(日)

第58回東北ブロック研究大会
秋田大会

11/8(日)

第58回青森県PTA研究大会
中弘南黒平大会

PTA 青森 AOMORI No. 115

令和8年9月1日発行
発行：青森県PTA連合会
〒030-0801
青森県新町 1-1-14 損保ジャパン
青森ビル 3F
TEL 017-722-1647
FAX 017-722-1648
E-mail info@aomoriken-pta.jp
HP https://aomoriken-pta.jp



▲この二次元コードで
県PTA連合会のHPを
ご覧いただけます。

令和8年度 第58回青森県PTA研究大会

中弘南黒平大会

令和8年 11月8日(日)

大会テーマ

(P) ぱっぱど動いて
(T) たんだでねえと言わずに
(A) あずましい学校生活

～新しいPTAのカタチへ、今できることを～

趣旨

無理なく参加できるPTA活動を考え、子どもたちの笑顔と地域のつながりを育む取り組みを共に創り、明日からのPTA活動の在り方を追求する。

会場

スポカルイン黒石 メインアリーナ 他

参加者

青森県内PTA会員及び関係者 約700人

参加費

2,000円

中弘南黒平大会実行委員長 あいさつ

このたび、青森県PTA研究大会の実行委員長を務めさせていただくこととなりました、増川博基です。

本大会は、「(P) ぱっぱど動いて(T) たんだでねえと言わずに(A) あずましい学校生活 ～新しいPTAのカタチへ、今できることを～」をテーマに開催いたします。子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する今、PTAにも時代に即した新しい姿が求められています。①「ぱっぱど動いて」という行動力、②「たんだでねえと言わずに」という思いやりと協力心、そして子どもたちが安心して笑顔で過ごせる③「あずましい学校生活」の実現という3つの願いを、この大会テーマに込めました。

私たち一人ひとりが「今できること」を持ち寄り、PTAと学校・家庭・地域が手を取り合うことで、新しいPTAのカタチが生まれると信じています。本大会が、参加された皆様にとって学びと交流の場となり、それぞれの地域での実践につながる実りある機会となれば幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、ご尽力いただきましたすべての関係者の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、ご参加いただく皆様にとって有意義な大会となることを願い、ご挨拶いたします。



実行委員長
黒石市連合PTA会長
増川 博基

令和7年度日本PTA国内研修事業(中学2年生対象)
in東京都 国立オリンピック記念青少年総合センター

令和8年3月25日(水)～28日(土)



青森市立筒井中学校 伊藤萌々花

私は今回の研修を通して、様々な地域の子と話をしました。私は青森県出身で、他県の子はほとんどが自分より南の地域出身の子だったため、場に馴染めなかったらどうしようかと不安だったのですが、会ってみると、自分と波長の似ている子や、明るく優しい子が多くて、少しずつ安心して打ち解けることができるようになっていきました。

主に話していたのは鹿児島、島根、石川、神奈川出身の子で、会ってから時間がたつにつれて少しずつお互いの地域について話すようになっていました。その中の会話で違いに気づいて驚いたことが3つあります。

1つ目は、青森では雪が降っても休校にはならないのに、鹿児島の方では、1cm積もっただけでも休校になる、と聞き、本当に驚きました。「いいな」と思っていたら、「代わりにこっちでは火山灰が降るよ」と聞いて、二度目の衝撃を受けました。「同じ日本国内でも、こんなに違うのか」と改めて感じました。

2つ目は、違いを感じたのはここだけではなく、同じ班のメンバーに「なまってるね」と言われたときは本当に驚きました。他の子達の会話を聞いていると、たまにその地域の方便を聞くことがあり、「みんな意外となまっているな～」と思っていましたが、まさか自分もそんなになまっていたとは思わず、驚きました。

3つ目は、3日目の帰りのバスの中での出来事です。みんながそれぞれそのもののよびかたについて話していたとき、地域ごとに違うということを知っていましたが、いざ聞いてみると、「それってどういう意味?」と思ったり、初耳の単語が出てきたりして、驚きつつも同時に、面白いなと感じていました。

今回の国内 PTA研修事業では、全国各地の子たちと出会い、話す過程で様々な違いや、特色を知ることができてとてもおもしろく、楽しかったと思っています。この貴重な体験で得ることができた経験や思い出は、今後の生活に活かし、無駄にすることなく成長の糧にするため、これから頑張っていきたいと思います。



鶴田町立鶴田中学校 齋藤優莉歌

私は 4日間の国内研修を通して、同じ日本のいろいろな県の人との関わり方やそして協力の仕方などを学ぶことができました。

研修一日目では、初めて会う同じ年代の他県の子に会えるということへのワクワクした気持ちと少しの緊張がありました。

1時間くらい飛行機に乗って東京につき、ほかの県の子達とも合流し、色々なことをお話しました。自分のやっている部活や特技、自分の県の特産品やおすめの場所などを共有できて、とても楽しくいつか行ってみたいなと思えました。

バスで移動しオリンピックセンターで、班のメンバーと合流しお話して、1番思い出に残っているのは方言についての話です。語尾の抑揚や使う言葉から違いがあつて4日間一緒にいるうちにうつってしまうことがありました。夜ご飯の時にいったレクでは班のみんなと協力し楽しく取り組むことが出来ました。また、他の班の人とも交流ができ、更にあとの3日間が楽しみになりました。

2日目では、レイの失踪や YCAPなど班のみんなや他の班との交流がメインで色々な人と県の話や自分の話を出来ました。特に YCAPでやった仲間探しでは、おにぎりの話をした時に鮭マヨが他県の子に伝わらなくて驚いた事が印象的です。3日目は、国会議事堂見学と待ちに待った自由研修でした。国会議事堂では、修学旅行の際に行けなかった所や実際に首相が座ったことがある椅子などに座れてとても貴重な体験になりました。自由研修で私たちの班は、浅草や原宿をメインに見て回りました。修学旅行で浅草に行った事があるのでオススメのお土産屋さんなどを紹介できて嬉しかったです。私はあまり電車で慣れていなかったのですが班に東京の駅に詳しい子がいてくれたお陰で迷わずスムーズに移動できてとても助かりました。最終日の 4日目では、みんなと会える最後の日だという実感が全然湧きませんでした。

部屋の片付けをしている時にやっと実感が湧いてきてとても悲しくなったことを覚えています。みんなと沢山写真を撮り、4日間の思い出を語りみんなで掛け合った「またね」という言葉がとても大切です。

自分と同じ国に住んでいても全く違う県の人達と関わることで新たな発見や、色々なことへの人それぞれの感じ方など数え切れないくらいの事を体験できたとても貴重な経験になりました。この経験を今後活かし、色々なことへ挑戦していきたいと思います。

写真は図柄・数の厳選を 編集企画の主役は活動報告

東奥日報社編集局整理部・整理委員

三上朋徳

Q：まずは広報紙コンクールの審査をされての感想からうかがいます。
A：年々、紙面のビジュアル化が加速しているな、というのが実感です。多くの写真を紙面に展開して、紙面の背景や見出しに色を付けたりと、カラフルな紙面がトレンドといった感じです。ただ、写真そのものの「力強さ」を感じた紙面は、そんなに多くありませんでした。写真をたくさん使いたいという意図は理解しますが、逆に紙面効果を損ねている作品も多々ありました。図柄やコマ数の厳選して、量より質にこだわってほしいです。

Q：審査にあたって、ポイントを置いた点は？
A：練られた企画を紙面に、いかに反映しているかに尽きます。運動会や学習発表会などの学校イベントの紹介、校長先生やPTA役員の挨拶寄稿などを使えば紙面を埋める作業はそれほど難しくはありません。でも、それだけでいいのかな？ と審査を引き受けるたびに思うのです。アンケートなり、コラムなり、インタビューなど「足で稼いだ」コンテンツを載せれば、それだけで紙面がにぎやかになります。コンテンツの主役は年間を通じてのPTA活動報告ではないかと思えますし、それらをいかに工夫を凝らして紙面という形にアウトプットするかが、知恵の見せ所です。

Q：紙面づくりで、皆さんにアドバイスをお願いします。
A：広報紙に何を載せたらよいか、企画に悩むという声をよく聞きます。一般論ですがPTA活動は、生徒・児童の学校生活を支援して、同時に保護者の皆さんも学ぶ「社会教育」の側面もあると思います。その活動を記録として残し、広く情報発信するのがその役割です。となれば、どんなコンテンツを盛ればよいのか、おのずと見えてくるのではないのでしょうか？

Q：編集の技術面での悩みを多いと思いますが。
A：紙面の割り付けや記事の書き方、写真の撮り方などの編集技術は、独学だけではどうにもなるものではありません。編集技術に長じたプロから教を乞うのがベストだと思います。私のような紙メディアに関わる人間としても、請われれば労を惜しむものではありません。ネットでも役に立つ情報も見つけることができます。

Q：最後にひとことお願いします。
A：PTA広報紙は、作ることで体が目的でないですし、ましてやコンクールで賞をとるためのものではありません。しかし、紙面づくりのための編集技術の研鑽を重ねることは保護者の皆さんの「学び」にもなるのではないのでしょうか。

第57回青森県PTA広報紙コンクール入賞団体

団体名	広報紙名
八戸市立根城小学校父母と教師の会	PTA 広報紙「ねじろ」
八戸市立白山台小学校父母と教師の会	ひこばえ
八戸市立桔梗野小学校父母と教師の会	水目沢
八戸市立西白山台小学校父母と教師の会	ひばりっこ
八戸市立長者中学校父母と教師の会	松風
八戸市立根城中学校父母と教師の会	大銀杏
八戸市立小中野中学校父母と教師の会	ともしび

団体名	広報紙名
青森市立造道小学校父母(保護者)と教師の会	広報つくりみち
十和田市立藤坂小学校父母と教師の会	ふじ
三沢市立三沢小学校父母と教師の会	おやしお
西目屋村立西目屋小学校父母と教師の会	PTA 広報にしめや
八戸市立第一中学校父母と教師の会	たてごし
八戸市立下長中学校父母と教師の会	下長
三沢市立堀口中学校父母と教師の会	堀中広報「未来樹」

団体名	広報紙名
青森市立堤小学校PTA	広報つつみ
弘前市立豊田小学校父母と教師の会	P.T.Aとよだ
八戸市立小中野小学校父母と教師の会	PTA広報こなかの
三沢市立上久保小学校保護者と教職員の会	かみくぼ
青森市立南中学校父母と教師の会	みなみ
弘前市立第一中学校父母と教師の会	桜花
八戸市立第三中学校父母と教師の会	青葉
八戸市立白銀南中学校父母と教師の会	みなみ
十和田市立三本木中学校PTA	鐘韻

県PTA 年次総会

令和8年度 年次総会 会長に棟方丈博氏が再任

6月5日(金)、ウェディングプラザアラスカを会場に青森県教育委員会教育長 風張知子 様、青森県教育庁生涯学習課長 清川喜之 様、青森県小学校長会 会長 宮野孝晶 様、青森県PTA安全互助会理事長 猪股大誉 様、青森県 PTA連合会顧問の横岡千和子氏ご臨席のもと、令和8年度青森県PTA連合会の年次総会が行われ、現会長の棟方丈博氏の再任が決まり令和8年度会長として承認されました。引き続き活動方針が示され、昨年度と同様、～楽しもう「できる人が、できるときに、できることを、できる範囲で」～をスローガンに基本方針、活動方針が確認されました。また、事業報告、事業計画、収支決算予算報告等、全ての案件が承認されました。令和8年度役員として新たに下北三町村から伊藤満治氏が副会長として就任しました。新たなメンバーも加わり2年目のかじ取りを任せられた棟方会長、PTA活動の良さを前面

GENERAL MEETING



に出し、その思いを基軸に令和8年度青森県PTA連合会の新たなスタートが切られました。